

行 動 計 画

社員がその能力を発揮し、仕事と生活の調和を図り、結果的に社員と会社がともに成長し続けることができる雇用環境を実現するため、次の通り行動計画を策定する。

1. 計画期間： 2019年7月1日 ～ 2022年6月30日までの3年間

2. 内 容：

目標1 2019年6月に一部導入した「フレックスタイム制度」の定着、拡大検討。

<対策>

2019年10月～ 制度について、社員へのアンケート実施。
以降、アンケート結果により運用改善、技術社員への適用拡大等を検討。

目標2 年次有給休暇の取得日数を一人当たり、平均年間12日以上とする。

<対策>

2019年 7月～ 年次有給休暇の取得現状を把握する。
2019年10月～ 計画的な取得に向けて、管理職や社員に広報する。
2020年 1月～ 各部署において、年次有給休暇の取得計画を策定する。
2020年 4月～ 定期的に取得向上の社内広報（キャンペーン等）を実施する。

目標3 引き続き、インターンシップ（学生の就業体験）やトライアル雇用（ハローワークからの紹介者を試行的に雇用）などを通じた若年層の安定就労・自立した生活を推進する。

<対策>

2019年10月～ 現在の実施状況や実績等を確認し、現状を分析。
2020年 1月～ 必要に応じ、拡大・伸長させるための方策を検討、実施。

以 上